

王子ヶ浜小学校  
学校だより第9号

# 王子ヶ浜

平成30年10月16日(火)

〒647-0031 和歌山県新宮市田鶴原町2-10-1

TEL:0735-22-8431 校長 山本眞也

秋の深まりを肌で感じる気候となりました。一日の中で、また一週間の中での寒暖差が大きいいためか、心身ともに疲れを感じる事がよくあります。改めまして、体調管理をよろしくお願いします。

平成30年度も折り返し地点です。特に2学期は学習に力を入れ、子どもたちの学力向上とともに教師の授業力向上も図っていきます。引き続き学校の取組へのご理解、ご支援をお願いします。

## ■本年度の全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日におこなわれた全国学力・学習状況調査（以下全国調査、6年生対象）の結果が学校に送られて来ています。以下、特徴的な内容に絞ってお知らせします。

今年度の全国調査は、子どもたち向けに国語A、国語B、算数A、算数B、理科、児童質問紙がありました。Aは基礎的な知識・技能を問う内容、Bは活用する力を問う内容です。

調査結果としては、国語B、算数B、理科は全国・県平均並、国語A、算数Aは少し下回る結果となりました。B問題につきましては、今年度の結果では改善されました。しかし、漢字の読み書きや敬語の使い方、慣用句（ことわざの意味）等、基礎的な問題でマイナス差がついてしまうという課題があります。難しい記述問題も漢字も同じ点数ですから、基礎的な問題での取りこぼしが大きな差となります。このあたりの改善が求められています。

児童質問紙では子ども達の生活・学習習慣や自己肯定感等が問われます。結果としては全体に良い傾向でした。特に「自分には良いところがある」「将来の夢や目標を持っている」「いじめは絶対にいけない」「人の役に立つ人間になりたい」といった問いで全国平均を上回っていました。この結果から本校の子ども達の心の成長は良好であることが推測されます。ただ、地域の行事やボランティア活動への参加、ニュースや社会的な事柄への関心は低く、改めて課題として提起されました。

学校として、学んだ事を定着させるための時間を確保する必要性を痛感しています。新しい学習指導要領（外国語の時間が増えた）に変わる中で、「学びの時間」を時間割の中で確保する事ができなくなりました。しかし、本校の子ども達にとって補習の時間は大切です。せめて2週に1回はその時間を確保するように時間割の工夫をおこなっていきます。

## ■受賞おめでとう。 ※敬称略、学年順

◎平成30年度「海と船の絵画展」

【入選】引地颯真、廣里瑚朱、前山百花、山口悠仁（1年）

◎平成30年度「読書感想文コンクール」

【入選】福田真夕（5年）、尾仲陽夏、中浦心陽、南咲妃（6年）

【特選】刈部陽平（2年）、南颯貴（6年）

※今年度は夏休み中、5・6年生を対象に「読書感想文の書き方講座」を持ちました。大勢の子ども達が参加してくれ、多数の作品が提出されました。

◎第40回「児童生徒木工工作コンクール」

【紀南木材新緑会会長賞】木村大翔（5年）

## ■今後の予定

11月27（火）28日（水）30日（金）：学校開放日 ※28日は給食試食会

12月3日（月）：人権お話し会、保護者学級